



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 フジッコ株式会社

コード番号 2908 URL <http://www.fujicco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長

(氏名) 奥平 武則

TEL 078-303-5921

四半期報告書提出予定日 平成28年11月7日

配当支払開始予定日

平成28年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	29,276	2.4	2,413	1.2	2,624	1.6	1,678	△15.9
28年3月期第2四半期	28,593	5.9	2,383	42.2	2,582	41.3	1,996	64.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,484百万円 (△14.0%) 28年3月期第2四半期 1,725百万円 (4.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第2四半期	56.18	56.15
28年3月期第2四半期	66.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	71,076	59,169	83.2
28年3月期	70,003	58,110	83.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 59,110百万円 28年3月期 58,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
29年3月期	—	17.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	61,350	4.5	5,100	2.5	5,400	0.4	3,700	△5.6	123.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 一社 (社名) 、 除外 2社 (社名) フジコン食品株式会社及びフジッコフーズ株式会社
 (注) 詳細は四半期決算短信(添付資料)3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	34,991,521 株	28年3月期	34,991,521 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	5,111,591 株	28年3月期	5,119,917 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	29,872,791 株	28年3月期2Q	30,204,254 株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)導入において設定した資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式数(106,800株)が含まれております。また、平成29年3月期第2四半期連結累計期間の期中平均株式数の計算において控除する自己株式には、「株式給付信託(J-ESOP)導入において設定した資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式の期中平均株式数(106,800株)が含まれております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融政策を背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、一方で、新興国経済の減速や英国のEU離脱決定が世界経済に与える影響の懸念など、景気の先行き不透明感は一層強まり、個人消費の回復には弱さが見られました。

食品業界においては、消費者の根強い節約志向や価格競争の激化とともに、北海道をはじめ、今夏の相次ぐ台風上陸が原料関係に大きな影響を与えることが予想されるなど、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、当グループにおいては、中期経営戦略に基づき、カスピ海ヨーグルト事業とOKAZU事業の拡大に注力するとともに、全社的なコストダウン活動に取り組みました。

売上高は、昆布製品が前年実績をわずかに下回りましたが、惣菜製品、ヨーグルト製品、豆製品、デザート製品が伸長したことから、292億76百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

利益面では、営業利益は24億13百万円（前年同四半期比1.2%増）、経常利益は26億24百万円（前年同四半期比1.6%増）となりましたが、前第2四半期連結累計期間には投資有価証券売却益を特別利益として計上していたため、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は16億78百万円（前年同四半期比15.9%減）と前年実績には及びませんでした。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

惣菜製品は、日配惣菜の伸長に加え、包装惣菜では少量タイプの「おかず畑ミニ」シリーズが大幅伸長を続けており、惣菜製品全体の売上高は堅調に推移しました。また、少量・食べきりの簡便性を追求し、9月より包装惣菜「おかず畑」シリーズから1人前の食べきりサイズを2個セットにした「おかず畑 おぼんざい小鉢2P」シリーズを地域限定で新発売しました。

昆布製品は、主力の佃煮が秋の新米に関連した販促提案やTVCM放映等を実施したものの前年実績を割り込み、昆布製品全体の売上高も前年実績をわずかに下回る結果となりました。

豆製品は、煮豆ではレギュラータイプの「おまめさん」シリーズの売上が減少しましたが、食べきりタイプの「おまめさん豆小鉢」が大きく伸長しました。また、機能性表示食品の「そのままがおいしい蒸し大豆」を中心に蒸し豆が前年から大幅に伸長したことから、豆製品全体の売上高は前年実績を上回りました。

ヨーグルト製品は、量販チャンネル等の「カスピ海ヨーグルト」シリーズが堅調に推移するとともに、通信販売チャンネルのサプリメント「善玉菌のチカラ」が大きく伸長したことから、ヨーグルト製品全体の売上高は前年実績を大きく上回りました。

デザート製品は、競争激化により依然として厳しい市場環境が続いておりますが、チルドゼリー「フルーツセラピー」の拡販に注力し、売上高は前年実績を大きく上回る結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億73百万円増加し、710億76百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1億42百万円増加し、100億58百万円となりました。これは主に、買掛金の増加によるものです。固定負債は、前連結会計年度末と比べて1億28百万円減少し、18億48百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ10億58百万円増加し、591億69百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.0%から83.2%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて11億65百万円増加し、148億9百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を24億93百万円、減価償却費を10億30百万円計上したこと等により、23億53百万円の収入（前年同四半期は14億41百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により、7億27百万円の支出（前年同四半期は2億77百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や長期借入金の返済等により、4億59百万円の支出（前年同四半期は44億23百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月16日に発表しました決算短信の通期の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成28年4月1日付で当社は完全子会社のフジコン食品株式会社及びフジッコフーズ株式会社を吸収合併いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しておりますが、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法は従来と同じであります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,643	14,809
受取手形及び売掛金	8,569	9,003
商品及び製品	790	858
仕掛品	319	369
原材料及び貯蔵品	5,374	5,033
繰延税金資産	436	557
その他	197	376
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	29,326	31,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,679	33,582
減価償却累計額	△21,872	△22,054
建物及び構築物(純額)	11,807	11,528
機械装置及び運搬具	22,532	22,808
減価償却累計額	△15,711	△16,105
機械装置及び運搬具(純額)	6,821	6,702
工具、器具及び備品	1,857	1,881
減価償却累計額	△1,483	△1,524
工具、器具及び備品(純額)	374	357
土地	13,424	13,228
建設仮勘定	9	304
有形固定資産合計	32,436	32,122
無形固定資産		
ソフトウェア	179	190
その他	134	129
無形固定資産合計	314	320
投資その他の資産		
投資有価証券	6,726	6,328
繰延税金資産	99	-
その他	1,108	1,309
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	7,926	7,628
固定資産合計	40,677	40,071
資産合計	70,003	71,076

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,697	4,036
短期借入金	500	550
未払金	2,959	2,899
未払法人税等	1,059	1,009
未払消費税等	308	325
賞与引当金	560	467
預り金	150	153
その他	680	616
流動負債合計	9,915	10,058
固定負債		
繰延税金負債	605	434
役員退職慰労引当金	301	337
退職給付に係る負債	1,070	1,077
固定負債合計	1,977	1,848
負債合計	11,892	11,907
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	7,405	7,416
利益剰余金	49,364	50,535
自己株式	△7,024	△7,013
株主資本合計	56,311	57,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,953	1,746
退職給付に係る調整累計額	△153	△141
その他の包括利益累計額合計	1,799	1,605
新株予約権	-	58
純資産合計	58,110	59,169
負債純資産合計	70,003	71,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	28,593	29,276
売上原価	16,676	16,840
売上総利益	11,917	12,435
販売費及び一般管理費	9,533	10,022
営業利益	2,383	2,413
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	127	84
受取賃貸料	37	39
売電収入	28	28
事業譲渡益	-	52
その他	28	37
営業外収益合計	222	241
営業外費用		
支払利息	3	1
賃貸費用	8	16
売電費用	10	10
その他	1	2
営業外費用合計	24	30
経常利益	2,582	2,624
特別利益		
投資有価証券売却益	356	-
国庫補助金等収入	9	-
特別利益合計	365	-
特別損失		
固定資産処分損	4	25
関係会社株式評価損	-	105
特別損失合計	4	130
税金等調整前四半期純利益	2,944	2,493
法人税、住民税及び事業税	1,089	918
法人税等調整額	△141	△103
法人税等合計	947	815
四半期純利益	1,996	1,678
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,996	1,678

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,996	1,678
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△278	△206
退職給付に係る調整額	7	12
その他の包括利益合計	△270	△193
四半期包括利益	1,725	1,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,725	1,484
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,944	2,493
減価償却費	960	1,030
株式報酬費用	-	80
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	6	△92
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11	24
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	36
受取利息及び受取配当金	△128	△84
支払利息	3	1
関係会社株式評価損	-	105
固定資産処分損益(△は益)	3	13
投資有価証券売却損益(△は益)	△356	-
売上債権の増減額(△は増加)	△347	△434
たな卸資産の増減額(△は増加)	249	221
仕入債務の増減額(△は減少)	51	263
未払金の増減額(△は減少)	△393	△225
未払消費税等の増減額(△は減少)	△286	17
預り金の増減額(△は減少)	△15	2
その他	△182	△228
小計	2,525	3,223
利息及び配当金の受取額	128	84
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△1,209	△953
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,441	2,353
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△931	△656
有形固定資産の売却による収入	13	-
無形固定資産の取得による支出	△43	△60
投資有価証券の取得による支出	△9	△7
投資有価証券の売却による収入	686	-
その他	5	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277	△727
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300	300
長期借入金の返済による支出	△595	△250
自己株式の売却による収入	-	0
自己株式の取得による支出	△3,617	△0
配当金の支払額	△511	△509
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,423	△459
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,259	1,165
現金及び現金同等物の期首残高	16,231	13,643
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,972	14,809

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円)

製品情報	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		増減額	(参考) 前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
惣菜製品	8,908	31.2%	9,163	31.3%	254	18,263	31.1%
昆布製品	8,217	28.7%	8,188	28.0%	△29	17,569	29.9%
豆製品	6,042	21.1%	6,196	21.2%	154	13,598	23.2%
ヨーグルト製品	2,900	10.1%	3,108	10.6%	208	4,879	8.3%
デザート製品	1,842	6.5%	1,976	6.7%	133	2,999	5.1%
その他製品	682	2.4%	642	2.2%	△39	1,407	2.4%
合計	28,593	100.0%	29,276	100.0%	682	58,718	100.0%

(注) 増減額は、当第2四半期連結累計期間と前第2四半期連結累計期間との比較で表示しております。